

# みどり



JA庄内みどり

2026  
No.381

1

本年もどうぞ  
よろしく  
お願い  
申し上げます





# 謹賀新年



代表理事組合長  
田村 久義

新年あけましておめでとうござい  
ます。

組合員の皆さまには、穏やかに令和8年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、当JA事業全般にわたり、組合員の皆さまには旧年中に賜りましたご支援とご協力に対し、心より厚く御礼申し上げます。

さて、当JA管内の稲作は、昨年も高温や少雨、局地的な大雨など、常態化する異常気象の影響を大きく受け、収量・品質ともに地域や圃場

による差が拡大しました。近年の庄内地域では、梅雨明け以降の高温・渇水や突発的豪雨が繰り返され、水稻だけでなく畑作物にも大きな影響が生じており、気候変動への適応は喫緊の課題となっています。当JAにおきましても、関係機関と連携し、耐倒伏・耐冷・高温耐性品種の導入や、高温・渇水に対応した水管理・土づくり技術の指導に一層取り組んでまいります。

こうした環境変化を踏まえ、昨年改正された食料・農業・農村基本法では、食料安全保障の観点が一層強調され、食料自給率の向上とともに「持続的な供給に要する合理的な費用」を価格形成に反映させる方向性

が示されました。米政策については、令和7年産以降、主食用米の増産への転換が国から打ち出されましたが、高温等による減収リスクや、担い手の高齢化に伴う作業力の制約を抱える現場の実態とはなお隔たりがあります。私どもは、生産費や労賃の実態を踏まえた再生産可能な米価の実現と、中長期的に安定した水田活用政策を国・県に強く求めるとともに、生産者団体としての責務を果たしてまいります。

一方で、「令和の米騒動」を通じて、米の安定供給と価格形成をめぐる、農協や生産現場の役割に事実と異なる情報が流れ厳しい目が向けられました。当JA管内では、生活クラブ生協との「庄内遊YOU米」をはじめ、多様な産地提携が進み、生産者・JA・消費者が価格や栽培方法について話し合いながら、長期的な米づくりの仕組みを築いてきました。概算金と精算金による安定的な資金繰りの支援、乾燥調製・貯蔵・輸送・販売までを一体で担う体制、そして土づくりや飼料用米、畜産との資源循環など、JAの役割はますます重要になっています。昨今の「米不足」を契機に、国は主食用米の生産拡大へ舵を切りま

したが、気候変動の影響で収量・品質が左右されやすい中、単年度の増産方針だけでは真の安心にはつながりません。私たちは、庄内平野という貴重な穀倉地帯を守り、「地域で米と食を確保することこそが、国民全体の食料安全保障に直結する」という信念のもと、需要に応じた生産を行い、産地としての責任を果たしていくとともに、総合農協として地域発展のため尽力してまいります。

また、当JAでは農協自己改革の一環として米穀事業検討委員会を設置し、販売手数料の在り方、将来的な共乾施設の在り方について検討を始めています。また、総代・役員体制検討委員会も設置して、総代定数、役員定数の検討を始めています。今後、も持続可能な農業を支援するため協同組合理念のもと組織の総力を結集し邁進してまいります。

結びに、組合員の皆さまには、旧年にも増してご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆さまにとりましてご健勝とご多幸に満ちた一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

本年もよろしく

お願いいたします



代表理事組合長	田村 久義	理 事	佐藤 浩良
代表理事専務	菅原 寛志	理 事	菅原 功
代表理事常務	渋谷 佐一	理 事	小野 貴之
常務理事	後藤 淳	理 事	佐藤 公紀
理 事	横山 主税	理 事	加藤 和幸
理 事	池田 良之	理 事	佐藤 清隆
理 事	齋藤 裕治	理 事	遠田 聡
理 事	岡部 亀義	理 事	高橋 身依
理 事	尾形 大介	理 事	三浦ひとみ
理 事	樋口 準二	代表監事	大井 順久
理 事	渡会 健	常勤監事	佐藤 裕
理 事	御船 浩弥	監 事	小松 正志
理 事	土田 伸	監 事	阿部 一智
理 事	丸山 康広	監 事	後藤 裕一
理 事	大谷 吉彦	監 事	小松原佑介
理 事	佐藤 仁	監 事	伊藤 修介
理 事	小野寺 一博	監 事	
理 事	長澤 良樹	職員一同	



## 今月の表紙

明けましておめでとうございます。  
今月の表紙は「舞娘茶屋 相馬樓」にて撮影を行いました。  
国の登録文化財建造物に指定された歴史ある建物と、新年らしく華やかな女性職員2人の晴れ着姿をご覧ください。

今年の干支にちなみ、「午(馬)」の絵が描かれた  
掛け軸の前でも撮影を行いました

## みどり

CONTENTS  
2026 No.381

- 02 組合長挨拶
- 03 表紙説明
- 04 新春特別インタビュー  
「地域農業の課題と、  
今できること」
- 07 ニュース&トピックス
- 08 午年生まれの初夢
- 10 クロスワードパズル/  
共済部からのお知らせ
- 11 インフォメーション/  
読者の絵馬 2026年の抱負
- 12 山居館初売り/  
みどりサービス謹賀新年

清水悠加 酒田みなみ支店・共済課ライフアドバイザー  
昨年はたくさんの方々に支えられ、日々学びと成長の1年でした。まだまだ未熟な  
ところも多いですが、今年もより多くの知識を深め、組合員の皆さまのお役に立て  
るよう頑張ります。

齋藤優花 八幡支店・金融課  
昨年は、入組後初の異動で慣れない部分も多々ありましたが、組合員の皆さまや周  
りの方々に支えられ、農協職員としてより成長できた1年となりました。今年も一  
生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

撮影場所:舞娘茶屋 相馬樓/竹久夢二美術館

撮影:株式会社スタジオ・サイトー 衣装協力:ブライダルキタムラ 衣装小物・着付け・ヘアセット:ヘアラウンジフレッシュ



新春特別  
インタビュー地域農業の課題と、  
今できること

2025年は「令和の米騒動」に端を発し、米にまつわる報道が過熱しました。米価高騰や備蓄米放出による日常生活への影響など、「消費者側の話題」が紙面を賑わす一方で、水稻栽培を始めとする日本の農業・農家の実状、現場における喫緊の課題といった「生産者側の話題」は比較的注目されづらい状況にあります。

今回は、当JA管内の生産組合・農事組合法人10組織へ、組織活動や農作業で感じている地域農業の課題について、2026年の抱負とともにインタビューを行いました。



酒田ひがし地区生産組合長協議会  
会長 杉山善則(北平田)

酒田ひがし地区は北平田、東平田、中平田の3つの生産組合があり、その構成員数は約390人です。地域の大半は平野部で、主に水稻を栽培しています。「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」はもちろん、「もち米」や「酒米」など、さまざまな品種を育てている地域です。

2025年は、春先の寒さの影響で苗づくりに苦労しました。その後も高温・少雨など気象の変動が大きい一年でしたが、過去の教訓を踏まえた対策を講じることができたと思います。イノシシやクマによる獣害、虫害の被害はあったものの、作柄は平年より良好で、食味も良く、近年の水稻栽培の中では比較的恵まれた年だったと感じています。

一方、担い手不足は依然として課題です。要因は多岐にわたり、生産組合の長として離農の相談を受けるたびに、その深刻さを実感しています。地域に残る貴重な「つながり」を絶やさないう、積極的に農作業を手伝い、災害発生時には各生産組合長が集まって情報交換や連携を行っています。担い手を一気に増やすことは難しいものの、農家が相互扶助の精神で助け合うことが重要だと考えています。

2026年の個人的な抱負としては、水田の規模拡大に力を入れたいと思います。また、農家に共通して言えることですが、健康第一で働くことが何より重要です。年々夏の暑さが増す中での作業となるため、特に熱中症に注意して農作業に励みたいです。

二転三転する政策や、米価の問題もありますが、一農家としてはこれからも変わらず、おいしいお米を作り続けていきたいと思っています。



酒田きた地区生産組合長協議会  
会長 仲川徳和(本楯)

酒田きたは5地区の生産組合からなり、私はその中のひとつである本楯地区農業振興協議会生産部の会長として活動しています。本楯地区内の生産組織数は19組織で、124人の生産者で構成されており、水稻のほか、梨・ネギ・アスパラガスなど多様な品目を生産し、養豚・肉用牛の畜産業も行っています。

近年、生産組合の活動は以前に比べて会議や集まりが減少し、生産者同士の交流も少なくなっているように感じます。また、どの集落でも高齢化や担い手不足が進み、生産組合長についても選出が難しくなっているのが現状です。

こうした状況を打開しようと、本楯地区では2020年に若手農家による組織「Sanzyu(サンジュ)」が発足しました。本楯発のブランド米を開発することを目的にスタートし、現在は独自に圃場巡回や研修を行い、本楯地区の活性化に向けて若い世代が精力的に活動しています。また、横浜・横須賀の小学校に出向いて実施するお米栽培の「出前授業」も継続しており、毎年交流を深めています。

2026年も、JAや行政からの情報収集や、組合員同士の交流・意思統一を図れるよう努めていきたいと考えています。個人としても、課題であった雑草対策について、圃場観察と水管理に重点を置き、高品位米の生産に取り組みます。さらに、本楯の農業を盛り上げるべく、100%本楯産ブランド米の生産計画など、夢は尽きません。

昨年は報道を通じて農家の厳しい実態を広く知っていただけたと思います。今年も変わらず丹精込めて、おいしいお米を作っていきます。





遊佐地区生産組合長協議会  
会長 高橋義博(遊佐)

遊佐地区は生産組合数が101、生産者数は768人と庄内みどり管内でも広範囲な地区で、水稻をはじめ園芸品目も多様な作物が生産されています。

2025年は、異常気象やイノシシなどによる獣害への対応が求められた年でした。米価は高騰したものの、燃油や資材等の値上げが数年前から続いており、農業経営は依然として厳しい状況にあります。

遊佐地区では、生産組合ごとの農道整備や泥上げ、共同草刈りといった活動に多面的機能支払交付金が交付されるため、協力体制は比較的整っていると思っています。一方で、耕作者の減少は日本農業共通の課題であり、私が組合長を務める生産組合も同様です。つながりは「むらづくり」の基本です。農地・農村を維持していくためには、自分の地域だけでなく、周辺地域と一体となって課題解決に取り組むことが重要だと思っています。また、農家だけでなく、地域住民が参加できる組織活動や行事なども工夫しながら行っていくべきだと感じます。

地域農業の未来に向け、遊佐町やJA、生活クラブと連携した食育活動を計画しています。新たな後継者の確保も急務ですが、まずは子供たちに「地元の農作物をおいしいと感じる」「町を好きでいてくれる」郷土愛の醸成が、未来の地盤になると信じています。

2026年も、地域農業を守る一翼を担えるよう努力します。庄内みどり産の農作物、ぜひ地元の自然や風土を感じながら味わってください！



酒田みなみ地区生産組合長協議会  
会長 渡部幸喜(新堀)

新堀地区の生産組合数は8組織、生産者は現在86人となっています。酒田市の南西部に位置し、最上川に沿って田畑が広がる実り豊かな地域です。

2025年の農業概況は、高温・少雨などの影響もありましたが、各個人がうまく対応できたと思っています。また、カラスやサギ、タヌキなどに圃場を荒らされる鳥獣被害も散見されました。今年は過去3年の作況から見ても豊作だったと感じています。

担い手不足は当地区だけでなく、地域、ひいては日本農業全体の課題です。高騰する米価が来年以降どうなるかは不透明な部分もありますが、個人農家の収入が上がることで新たな雇用を生み出す余裕が生まれると考えています。雇用が生まれることで、近年委託が増加している田畑も荒らすことなく、継続していくことができるでしょう。消費者が納得でき、農家が持続可能な価格で落ち着くことを望んでいます。

生産組合での共同作業についても、より一層の協力体制が必要だと考えています。会長としては、会議の際に建設的で円滑な進进行を心がけ、未来の担い手が安心して引き継げるような圃場づくり、組織づくり、そして地域づくりに向けた取り組みが進むよう尽力していきます。

2026年は、私含め各々が体を壊さずに、今ある耕作面積を地域全体で維持していくことが目標です。流通やPRなどの面ではJAや行政が連携し、消費者が安心してお米を食べ続けられる環境の整備を望んでいます。



平田地区生産組合長協議会  
会長 古川和親(平田中央)

平田地区には41の生産組合があり、約200人の生産者で構成されています。農地では水稻を中心に栽培が行われているほか、中山間地域ではそばなどの栽培も行っています。

2025年の水稻は7月に高温・少雨となったものの、過去の教訓を踏まえた水管理を徹底した結果、平年並みの作柄を確保することができました。

一方、近年増加傾向にあるクマやイノシシ等による獣害については、中山間地域で実際に被害が発生し、平野部でも過去に例のないほどクマの目撃情報が相次ぎました。

平田地区の喫緊の課題は「担い手の不足と確保」です。頑張っている農家が持続的かつ効率的に働ける土台づくりを進めることが、新たな担い手の確保につながると考えています。生産組合や協議会では情報交換が活発に行えることが強みであり、JAや行政等も含めた地域の連携は不可欠だと感じています。

2026年の抱負は、個人としても、平田地区全体としても「持続可能な農業」を行っていくことです。昨年は自分の経営面積が大きく拡大しましたが、苦勞しながらも無事に収穫を迎えることができました。今後も、各生産組合が多様な取り組みを進めるとともに、業務負担を軽減することで、停滞ではなく持続可能な農業が実現できる地域にしていきたいと考えています。

今年も健康第一で、自分の農地はもちろん、受託した農地も荒らすことなく次の担い手に引き継げるよう、これからも消費者の皆さんがおいしいお米を食べ続けられるよう頑張りたいです。



八幡地区生産組合長協議会  
会長 齊藤宏(一条)

八幡地区の生産組合数は37、加入生産者数は404人です。北には鳥海山を望み、観光地として名高い「玉簾の滝」を有する自然豊かな地域で、水稻や大豆をはじめ、果樹、野菜など幅広く栽培しています。

2025年の水稻は、夏期の高温・少雨等の影響が比較的少なく、地区内では獣害や虫害に見舞われた地域もあったものの、例年に比べると増収といえる作柄でした。

一方で、八幡地域はJA管内で最も過疎化の進行が速いと感じています。私の地区もそうですが、少人数で構成される生産組合が増えており、生産組合同士のつながりも希薄になりつつあります。

また、一昨年7月の記録的豪雨災害で被害を受けた大沢地区は、今なお復旧の途上にあります。「圃場が元どおりになっても、もう続けられない」と営農継続を断念する農家もあり、あらためて生産組合の重要性を痛感しているところです。そんな状況の中で、地域への支援や、情報共有などのつなぎ役として貢献してくれているJAには非常に感謝しています。とはいえ、JAに頼るばかりではなく、お互いが助け合い、自助努力をしながら農業を継続していかなければならないと強く思っています。

2026年の目標は、安定した生産量を確保しつつ、より良い米づくりに取り組むことです。当たり前のことを当たり前に、地域や社会から認められる農家を目指していきます。

山形産、なにより庄内みどり産のお米をぜひ食べてください。





農事組合法人 きがわ  
代表理事 柿崎一美

私たちは設立10年目を迎える、7名で構成された農事組合法人です。新堀地区の46haの農地で、日々力を合わせて農業に取り組んでいます。

2025年の水稲については、もともと鳥獣被害の少ない地域であるうえ、無人ヘリによる防除が奏功し、虫害も大きな被害には至りませんでした。収量は安定し、肝心の食味も良好であったと考えています。

最近の米価についての報道は、価格高騰への不満など一部の面しか取り上げられず、農業が置かれている厳しい現実には十分に取上げられていないように感じます。農業者と消費者の双方が納得できる水準に価格が落ち着くことを願っています。

組織としての課題は多々ありますが、一番の課題は「農家の高齢化と新規担い手不足」だと実感しています。組織の平均年齢は70代であり、若い担い手や後継者の確保が急務です。若者の確保には、社会保障の充実などを通じて、農業の将来像に希望が持てることを示す必要があると考えます。また、就職活動中の学生からは「なぜ農業の求人がないのか」と疑問に思っているという話を聞きます。人付き合いが得意ではない学生も黙々と作業できる農業は魅力的な選択肢になり得るはずです。

一方で、無人ヘリを中心に若手農家が地域のために活躍しています。地域、世代を超えた協力体制に、地域農業存続への希望の光を感じています。

2026年も「無理をしない」ことを個人的な信条として、肩の力を抜きつつ着実に取り組んでいきたいです。組織の仲間と利益も苦悩も分かち合い、これからも力を合わせて農業に励んでいきたいと思っています。



松山地区生産組合長協議会  
会長 日下部真(内郷)

松山地区の生産組合数は31で、約135人の生産者で構成されています。水稲栽培、そばなどのほか、全国的な知名度を誇る庄内柿の栽培が盛んな地域です。地区には松山藩の歴史が色濃く残り、気骨があつて真面目な人が多い印象です。

2025年の水稲の作柄は平年より良好でした。春先には低温の期間もありましたが、こまめな管理で対応できました。カメムシについても、JAと連携した防除対策により大きな被害なく収穫を迎えることができました。

担い手の高齢化と後継者不足は、何年も前から抱えている課題です。今年は米価の高騰がニュースを賑わせていますが、これまでの米価が安すぎたことが、後継者不足につながる要因の一つになったのだと思います。松山地区はほかの地区に比べて中山間部の農地が多いものの、結束力が強く統率の取れた地区だと感じています。新しい担い手はもちろん必要ですが、今後も草刈りや清掃を協力して行い、お酒を酌み交わしながら近況を報告し合い、地域全体で困難を乗り越えていきたいと考えています。

2026年は、毎年状況が変わる農業に対し臨機応変に対応していくこと、圃場の手入れを怠らないことが目標です。「ひとりみんなのため」の精神がより結束力を高め、地域農業をより良くすると信じています。

消費者が「買えない」と感じる米価の高止まりは望んでいません。生産者と消費者がお互いに納得できる適正価格で推移することを望んでいます。



農事組合法人 滝の里ファーム  
代表理事 池田善幸

酒田市八幡、升田地区を拠点とする滝の里ファームは、現在21人が約40haの耕作地で水稲やそばのほか、リンドウなどを栽培しています。升田地区は鳥海山の麓、日向川上流に位置する標高約200mの中山間地で、水田地帯に流れ込む水路はイワナが生息するほどの清流です。

升田地区は4～5年前からイノシシが頻繁に圃場に出没しはじめ、2025年もその被害に悩まされました。現在は侵入防止用の電気柵の設置など、対策について行政と協議を進めています。

夏場には高温・少雨が続きましたが、水田の適切な水管理と、平野部よりも気温が約2℃程低い環境も相まって、大きな影響はありませんでした。

設立から11年が経過し、平均年齢は70歳を超えました。農地を手放す人がいる一方で、新規担い手の確保に努力しております。3年前に若い従業員1名を迎え入れましたが、組織の維持・存続にはまだ人数が必要だと考えています。生産組合や法人の垣根を越えて、草刈りや清掃などで積極的に連携していくべきだと感じています。

私個人の2026年の目標は、時代の需要に合わせた作物づくりに挑戦し、可能な限り経費を抑えられる作物への転換を図ることです。ここ升田地区は、「玉簾の滝」をはじめとする優れた景観と、清らかな水と空気によって育つ安心・安全でおいしいお米が自慢です。観光と食の魅力を、ぜひ体感してください。



農事組合法人 アグリ南西部  
代表理事 石垣雅春

アグリ南西部は、2016年1月、遊佐の稲川・西遊佐地区に設立した法人です。地域農業の将来を見据え、地域の力を結集すべく一念発起し、今年でちょうど10周年を迎えました。孤立防止や雇用創出の観点から、水稲だけでなく園芸にも幅広く取り組み、現在は119名、耕作面積345haの圃場で農業に励んでいます。

2025年の作柄は結果的に平年並みでしたが、夏場の高温により肥料が想定より早く溶け出す事例が見られたため、追肥の有無やタイミングなど、来年以降に向けた課題が残りました。

設立当初に懸念していた通り、高齢化に伴うリタイアや畑作への専念が増え、当法人に水田の管理を任せたいという相談を多くいただいています。これらをいかに集約して受託するかが、現在の大きな課題です。特に点在する委託農地の集約については、より良い方法がないか日々模索しています。今年は積極的に若者の雇用やスマート農業、データ分析を活用した作業の効率化を行い、担い手不足に対応した様々な対策を行う予定です。また、作業中の事故や熱中症の対策など、組織全体で健康第一を心がけていきます。

農業は日本の食料を生産するという、とてもやりがいのある仕事です。輸入に頼らない、「地産地消」がベストだと思っています。これからも消費者のため、ここ遊佐の地で安全・安心でおいしいお米を作り続けます。



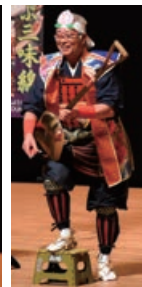
# 「桃太郎侍」俳優・高橋英樹さんが講演

01

## 年金友の会「つどい」開催

11月30日、当JA年金友の会は、酒田市民会館・希望ホールにて年金友の会「つどい」を開催しました。同イベントは年金受給サービス利用者へ日ごろの感謝を込めて開かれているもので、今年は約570人の会員が来場。ゲストとしてお招きした俳優・高橋英樹さんの講演と、「津軽すこっぷ三味線」演奏家・館岡鳥海山さんのパフォーマンスを楽しみました。

栓抜きでスコップを津軽三味線の音源に合わせながら叩く館岡鳥海山さんの演奏に、会場は開演早々大盛り上がり。バトンを受けた高橋英樹さんは、「桃太郎侍の人生数え唄～素敵に年を重ねるには～」と題し、自身のポジティブな人生観について、豊富な交友関係のなかで得たものや、芸能界での貴重な経験談などを交えながら講演しました。高橋英樹さんは「ポジティブは“気”から」「義理と人情を大切に、一生稽古・一生勉強」と語り、軽妙な語り口に笑い声や拍手が響くなか、会場は終始和やかな雰囲気包まれていました。



▶講演後、当JAより花束と管内産米が贈呈されました



# 管内の交通安全のために

## 酒田市・遊佐町にカーブミラー寄贈



02



▲松永遊佐町長（左）と田村組合長

◀図▼目録とレプリカを手渡しました



▲矢口酒田市長（中央）とJAそでうら五十嵐組合長（左）、田村組合長

地域住民のくらしを守る「交通安全事故対策事業」の一環として、当JAとJA共済連山形は酒田市・遊佐町に対し毎年カーブミラーを寄贈しています。11月25日、当JAの田村久義組合長と同共済連の職員が遊佐町役場を訪問し、松永裕美町長にカーブミラー4基を贈呈したほか、12月11日には当JAの田村組合長とJAそでうらの五十嵐良弥組合長らが酒田市役所を訪れ、矢口明子市長にカーブミラー14基を贈呈しました。

寄贈を受け、松永町長は「大変ありがたい。集落など見通しの悪い道が多いなか、交通事故の未然防止に役立っている」、矢口市長は「市民から設置の要望が多く、毎年助かっている。適切な箇所に取り付けたい」とそれぞれ感謝の意を表しました。

カーブミラーの寄贈は1973年（昭和48年）から行っており、現在までに遊佐町へ合計280基、酒田市へ合計1,134基を寄贈しています。

# 「松くい虫」被害対策の強化を県に要請書提出



03

## 吉村美栄子山形県知事が現場視察

近年、庄内地方では「松くい虫」による松枯れが深刻化しており、特に庄内海岸林の松枯れ・倒木と、それによる通行障害・農業用施設の倒壊・人的被害といった二次被害の報告が相次いでいます。

11月28日、吉村美栄子山形県知事は状況確認のため、JAそでうら管内の黒森圃場を視察。その後、庄内の市町村・商工会議所からなる庄内開発協議会と、庄内3JA（庄内みどり・そでうら・鶴岡）より、松くい虫被害対策に関する要請書がそれぞれ吉村知事に手渡されました。吉村知事は「危険木の伐採は急務だと思っている。抵抗性クロマツや広葉樹の植栽といった再生事業についてはプロジェクトの立ち上げや調査を進めつつ、財源の確保についても政府に対して提案していきたい」と述べました。

当JAの田村久義組合長は「伐倒駆除が必要な松、ワクチン接種で切らずに済む松をしっかり見極めながら対策してほしい」と要望しました。

また12月13日には、鈴木憲和農林水産大臣も視察に訪れ、関係者らと意見交換を行いました。



▲吉村知事（中央右）に要請書を渡すJAそでうら・五十嵐良弥組合長（中央左）、JA鶴岡・保科互組合長（左）、田村組合長（右）





# 午年 うま 生まれの 初夢



今年こそ  
資格試験合格！

松山・成沢

榎本 光希さん

平成14年生まれ

酒田市内の建設会社に勤務し、建設現場の現場監督をしています。

現場監督は、要望通りのものを完成させるために、お客様や業者と打合せをして双方の意見や要望を上手くまとめ、工事の現場が円滑に進むように管理をする幅の広い仕事です。現場の管理は難しく大変な仕事ではありますが、まっさらな土地から地図上に残るものが出来ること、完成した際にお客様から喜んでいただけるととてもやりがいを感じますし、頑張って良かったと思います。

昨年は、仕事をする上で必要な資格試験で悔しい結果となってしまいました。今年は、合格できるように勉強を頑張りたいです。



将来の夢は  
JR東海の駅員！

酒田ひがし・新青渡

阿部 諒太さん

平成26年生まれ

小学3年生から平田陸上教室に参加しています。「足が速くなりたい」という思いから始め、練習を積み重ねて県内のさまざまな大会に参加しています。また、幼いころから鉄道が大好きで、駅の発車メロディを弾けるようになるために、昨年の4月からピアノを習い始めました。楽譜を覚えるのが大変ですが、上手く弾けるように頑張っています。

昨年は、さまざまな所へ家族で旅行に行ったことが思い出に残っています。特に、名古屋へ行った際には、東海道新幹線に乗ったり、私鉄やリニア鉄道館などを見に行ったりととても充実した旅行となりました。

将来の夢はJR東海の駅員になることなので、元氣な挨拶を心がけて学校生活をしっかり過ごしていきたいです。





## 我が子の頑張る 姿が活力に

酒田みなみ・丸沼  
しげゆき

石井 繁行さん

昭和53年生まれ

電気設備工事の会社に勤めながら、家業である水稲栽培も並行して行っています。若いころは兼業に苦労しましたが、現在は無理なく両立できています。

電気設備工事は感電や高所作業など大きな危険が伴う仕事なので、「安全第一」を肝に銘じて業務に励んでいます。事故なく工事を終え、電気が通った瞬間に一番やりがいを感じます。

農繁期が重なると趣味の釣りを楽しむ時間も限られてしまいますが、子どもたちが参加しているスポーツ少年団の大会は、できる限り応援に駆け付けるようにしています。娘はバスケット、息子は野球をやっていて、汗を流す二人の一生懸命な姿にいつも活力をもらっています。

今年も、家族との時間や仕事で充実した一年になるよう、これまで通り頑張っていきたいです！



## 生産者と消費者を 繋ぐ産直施設を より良いものに

八幡・橋本  
たけし

佐藤 豪さん

平成2年生まれ

20歳で、新庄市にある当時の山形県立農業大学校を卒業してすぐに専業農家となりました。水稲と大玉トマトやサトイモ、キュウリやダイコンなど他にもさまざまな野菜をハウスや露地で栽培し、産直たわわにも出荷しています。農業は力仕事が多く、大変ですが直接「おいしい」と言われたときや作物が上手に育ったときにはとてもやりがいを感じます。

昨年は、長野県で開催された全国農林水産物直売サミットに初参加してきました。全国から産直施設関係者らが集まり、講演を聞いたり、産直施設の在り方や経営についてお互いに意見交換を行ったりするなど多くの学びがありました。

今年は、産直施設のより良い運営のためにできることを意欲的に取り組み、1年を通して新鮮な野菜などを計画的に出荷・販売し、怪我なく作業を行っていきたいです。



## 米栽培一筋 約50年！

平田中央・本宮  
わたる

早水 渉さん

昭和29年生まれ

20歳の頃から兼業農家として農業に従事していました。12年ほど前に仕事を退職してからは、専業農家として水稲を栽培しています。農業は、天候などによって生育状況が毎年変わるため、作業内容も全く同じということがありません。そこが、「農業」の面白さであり、魅力だと思います。また、農作業中に近所の方や知り合いに会って話すことが多いので、コミュニケーションを図る場にも繋がっていると感じています。

農業をこれからも続けていくために、今年は体力づくりを目標にしたいです。筋力トレーニングや歩くなどの運動をして、元気な体で日々を過ごしていきたいです。



## 健康管理と クマの被害に 気をつけたい

遊佐・下藤崎  
ちから

今野 主良さん

昭和41年生まれ

専業農家として水稲やメロン、スイカ、ダイコンを栽培しています。農業は、生育の予測を立てて作業を行っても、天候などに左右されて予想通りに行くことが少ないため、毎年1年生の気持ちで栽培しています。収穫の際も、天候や生育状況などを見て、適期収穫ができるよう見極めながら品質管理を行っています。

昨年は、夏に開かれた旧藤崎中学校の同窓会へ参加したことが思い出に残っています。還暦を祝う会も同時に行い、学生時代の思い出話や現在の話で盛り上がり、とても楽しく過ごすことができました。

今年の目標は、健康管理とクマの被害に気をつけることです。農業は体が資本のため、適度に体を動かすことなどを心がけたいです。また、昨年はクマの出没や被害が多く、自宅周辺に出没したこともあったため、慎重に農作業を行っていきたいです。



# クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

## 【タテのカギ】

- ②メレンゲを作るときに使う道具
- ⑥鍋料理の締めにも使う麺
- ⑧晴れかなあ、雨かなあ
- ⑨牛、豚、鶏のものがよく流通しています
- ⑩令和8年の干支です
- ⑪歯ブラシにつけます
- ⑮自分の兄弟姉妹の息子
- ⑯ダルメシアンは——模様の犬です
- ⑰書初め大会で——に選ばれた
- ⑲受験生が空欄に書き込んでいくもの
- ⑳単位はアンペアです

## 【ヨコのカギ】

- ①正月に食べる、モチ入り汁物といえば
- ②どら焼きに挟み込まれているもの
- ③おせち料理の定番の一品。卵が材料の一つ
- ④交差——、及第——
- ⑤右手が——、という人が多数派です
- ⑦本を読み終えること
- ⑩ガラガラとのどを洗います
- ⑫旅立つ人の——に駅のホームまで行った
- ⑬ワラや木やレンガの家を建てる童話があります
- ⑭漢字で書くと百足。足の多い生き物です
- ⑰椅子のこと。ロッキング——
- ⑲アルカリと混ぜると中和します
- ⑳焚くとよいかおりが広がります



## 【12月号答え】 ボタンナベ



## 【当選者発表】

- I・Sさん(上田)  
D・Kさん(北平田)  
K・Eさん(八幡)  
K・Rさん(浜中)  
柴犬さん(遊佐)  
A・Yさん(松山)  
K・Tさん(東京都)

## ヒント!

初詣に行ったり、  
コタツでダラダラ  
したり…

## 正解者の中から抽選で10名様に 管内産米を使った日本酒をプレゼント!

※アルコールを含むため20歳以上のご応募に限りま。

【締切】1月22日(木)当日消印有効

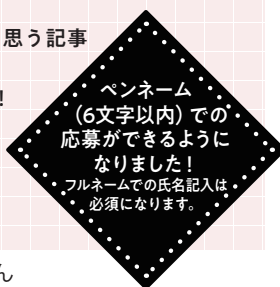
【応募方法】下記5問をご回答ください

- ①答え ②今月号で良かった記事 ③今後あったらいいと思う記事
- ④来月号の「読者からのおたより」掲載用にひとこと
- ※季節の話題、日常の話題、今月号の話題などなんでもOK!
- ⑤お届け先情報(郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号)

【あて先】〒998-8510 JA庄内みどり 広報クイズ係 行

※e-mailでの応募は

kouhou@ja.midorinet.or.jp まで



お送りいただいた個人情報は当誌の編集以外には使用しません

## まさか! の時に必要な保障がムダなくそろった

# フルマスター 自動車共済のスタンダードです!

### ★安心の充実保障 自動車事故のリスクを幅広くカバー!

#### ご自身とご家族の保障

自動車事故によるご自身やご家族、ご契約のお車に搭乗中の方などが死傷されたときの損害を幅広く保障。

- ◆人身傷害保障
- ◆傷害定額給付保障

#### 相手方への保障

ご契約のお車により他人を死傷させたり、他人の車やモノを壊したときの損害や、ご契約のお車の線路への立入り等により電車等を運行不能にしたことによる法律上の損害賠償責任を幅広く保障。

- ◆対人賠償(無制限)
- ◆対物賠償(無制限・対物超過修理費用保障付)

#### お車の保障

大切なお車の事故による破損や盗難、台風などによる損害を幅広く保障。

- ◆車両保障(全損害担保)
- ◆レッカー・ロード費用保障
- ◆車両諸費用保障特約

### JA共済事故対応 利用者満足度\*

# 94.5%

\*JA自動車共済利用者満足度調査、令和6年度事故対応サービス全般的満足度実績(JA共済連調べ、とても満足・満足・やや満足・やや不満足・不満足)

## もしものときにあわてないために。

### 事故や故障時の連絡先をご確認ください。

**自動車事故等**の場合には

JA共済事故受付センター

☎ **0120-258-931**

**24時間  
365日  
受付**

※JAの営業時間内は、ご加入先JAまでご連絡ください。

**レッカー移動や故障時**の  
応急対応が必要な場合には

JA共済サポートセンター

☎ **0120-063-931**

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご確認ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご確認ください。

詳しくはお近くのJAにお問い合わせください



# Information

▼金賞を受賞した早坂一人さんの  
スプレーストック

▼銀賞を受賞した佐藤薫さんの  
スプレーストック



## 早坂一人さん 山形県ストック品評会にて金賞受賞

山形県花き研究会・JA全農山形共催の山形県ストック品評会は、県産ストックのさらなる品質・知名度の向上と生産振興、消費拡大に努めるために、関東や仙台など県外の市場で毎年行われています。今年は、東京の中央卸市場板橋市場で品評会が行われ、県内各地のJA部会より71点が出品。当JAからも10点出品されました。

厳正な審査の結果、浜中地区の早坂一人さんが出品したスプレーストック「カルテットパープル」が金賞となる「山形県花き研究会会長賞」を受賞しました。

早坂さんは、受賞について「とても嬉しい。頑張って栽培してきたかいがあったと思う。これからも毎日の積み重ねを大事に邁進していきたい」と喜びを語りました。

そのほか、浜中地区の佐藤薫さん出品のスプレーストック「スパークイエロー」が銀賞となる「株式会社大田花き社長賞」を受賞しました。

▼当JA田村久義組合長(左)に受賞を報告した石垣代表理事(中央)、高橋敬副代表理事(右)



## アグリ南西部が 「山形県ベストアグリ賞」受賞

12月3日、令和7年度の山形県ベストアグリ賞授与式が県庁で行われ、当JA管内からは遊佐町の農事組合法人「アグリ南西部」が同賞を受賞しました。地域の環境を活かし、優れた経営等を実践している先駆的な農業者や組織を表彰するもので、今年は県内1個人7団体(法人含む)が選ばれました。

受賞理由として、「園芸品目を導入し、周年農業を実現していること」「新規雇用の創出に積極的に取り組んでいること」「生活クラブと提携した共同開発米を栽培し、耕畜連携・特別栽培に取り組むことで、安全・安心な農産物を提供していること」などが評価されました。

受賞を受け、石垣雅春代表理事は「大変名誉ある賞をいただき光栄に思う。賞に恥じないよう、引き続き若い担い手を募りつつ、これからも組織一丸となって地域農業を守っていきたい」と抱負を語りました。



## 読者の絵馬 2026年の抱負

- 健康に留意して仕事と育児頑張りたい! (東京都・竹村さん)
- ウォーキング倶楽部、今年も完歩したい! (酒田・岡部さん)
- 資格試験に合格したい! (京都府・小森さん)
- 健康に気を付けながら庄内グルメを食べ歩きたい! (西荒瀬・ルンリンさん)
- グラウンドゴルフに参加して良い成績をとりたい! (八幡・信夫さん)
- 獣害に負けず、畑仕事を頑張りたい! (遊佐・高橋さん)
- 前向きでクヨクヨしない、今を楽しむ人生にしたい! (八幡・池田さん)
- ピアノに向かう時間を作りたい! (東平田・池田さん)
- フットワーク軽く、色んな事にチャレンジしたい! (平田中央・石黒さん)
- 歳相応に無理せず家庭菜園を楽しみたい! (酒田・北のアクエリアスさん)

そのほか、たくさんの投稿ありがとうございました!



## 北の若関が当JAへ来協しました!

11月25日、酒田市出身の力士、北の若関が、田村久義組合長ら役職員へ今年の実績報告などを行うため当JA本所へ来協しました。

田村組合長は「今年は怪我等含め苦しいこともあったと思うが、応援しているのでこれからも頑張ってもらいたい」と話し、北の若関へJA庄内みどり産米1俵と子会社である(株)みどりサービスよりマルノー山形の味噌と醤油を贈りました。



▲手形色紙を持つ菅原専務④、北の若関④、田村組合長④

また、北の若関より自身の手形色紙を田村組合長へいただきました。





**数量限定!**  
福袋の販売  
野菜の詰め合わせ

**随時 山居館会員  
募集中!!**  
詳しくは、☎26-6732  
佐藤まで

農産物直売所  
**みどりの里 山居館**  
令和8年も  
よろしく願います!



# 初売り

**1/4(日)  
9:00～  
START!**

**初売り抽選会**  
**1/4(日) ハズレなし!**  
**先着100名様**

**800円以上**お買い上げのお客さま**先着100名**  
さまは、その場で抽選いたします

**金賞**  
「つや姫」精米5kg 5本

**銀賞**  
「つや姫」精米2kg 15本  
など









**株式会社みどりサービス**

安心のサービスで暮らしをサポート

# 謹賀新年

旧年中はひとかたならぬご高配にあずかりまして  
誠にありがとうございました  
皆様のご繁栄を心からお祈り申し上げますとともに  
本年も倍旧のお引き立てのほど切にお願い申し上げます

令和八年 元旦

代表取締役会長 田村 久義

代表取締役社長 吉村 俊一

取締役 菅原 寛志

取締役 渋谷 佐一

取締役 加藤 和幸

取締役 長澤 良樹

取締役 齋藤 裕治

取締役 佐藤 公紀

取締役 大井 順久

取締役 佐藤 順久

取締役 佐藤 順久

取締役 佐藤 順久

取締役 佐藤 順久

取締役 佐藤 順久

取締役 佐藤 順久

取締役 佐藤 順久

取締役 佐藤 順久

取締役 佐藤 順久